

牛ウイルス性下痢ウイルスの関与が 疑われる事例が発生しました

本ウイルスにより発症する牛ウイルス性下痢・粘膜病
(BVD-MD)とは・・・どんな病気？



急性感染症

発熱、下痢、呼吸器病が発症、適切な処置で回復

しかし感染牛が妊娠していると

持続感染牛(PI牛)

一見健康だが虚弱、発育遅延
さらに抗体を産生せず大量にウイルスを排泄し同居牛への感染源

流死産・奇形



やがて・・・

粘膜病で死亡

BVD-MDはワクチンで防御できるのです!

これが問題!



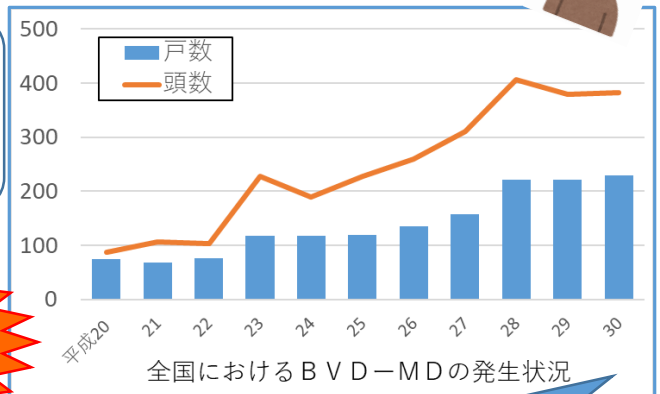
★不活化ワクチン

酪農、繁殖農家にお勧め

★生ワクチン

育成、肥育農家にお勧め

妊娠牛への生ワクチン
接種はPI牛産出の可能性
があります
獣医師に依頼しましょう



増加!!

お問い合わせは飯田家畜保健衛生所、飯伊家畜畜産物衛生指導協会まで

死亡イノシシを発見した場合は、市町村・南信州地域振興局・飯田家畜保健衛生所まで